

令和2年8月12日

公益社団法人日本麻酔科学会
理事長 小坂橋 俊哉 様

公益社団法人日本臨床工学技士会
理事長 本間 崇



タスク・シフト/シェアに関 する厚労科研調査への協力について（依頼）

拝啓

ますます ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から種々お世話になり深謝いたします。

さて、医師の働き方改革に向けて、医師の労働時間短縮を実現するための議論がなされております。

現在、臨床工学技士、診療放射線技師および臨床検査技師等へのタスク・シフト/シェアに関する検討が最終段階に至っており、提案されている行為について、安全かつ適切な実施体制を確保する観点から調査が計画されております。つきましては、下記のとおり、ご協力いただきたく存じます。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. アンケート調査の概要について

- ・ 実施者：令和2年度「診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士の業務範囲拡大のための有資格者研修の確立及び学校養成所教育カリキュラム見直しに向けた研究」
主任研究者 北村 聖（公益社団法人地域医療振興協会 地域医療研究所）
- ・ 方 法：記述式アンケート調査 ※調査票を添付
- ・ 対象者：臨床工学技士へのタスク・シフト/シェアが検討されている行為を
現在、実施している医師や看護師（業務内容は次頁にてご確認ください）
- ・ 内 容：臨床工学技士へのタスク・シフト/シェアを行うにあたって
ア. 当該職種の教育課程上追加的に必要と考えられる内容
イ. 実践上留意する必要があると考えられる内容
- ・ 期 間：2020年8月17日(月)～8月28日(金)

2. アンケート調査の実施における協力について

- ・ 貴会員の皆さま（例：理事の先生など）に、ご協力を依頼くださいますようお願いいたします。
- ・ ご回答は、Google フォーム <https://forms.gle/CkHv9czh8XzxHkMz5> から、ご自身で お願いいたします。
- ・ 設問の対象となる行為が多岐に渡っております。ご専門に応じて可能な範囲でご対応ください。

以上

参考 臨床工学技士へのタスク・シフト/シェアが検討されている行為

- ① 手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するために静脈路を確保し、それらに接続する行為
- ② 手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、輸液ポンプやシリンジポンプを用いて薬剤を投与する行為
- ③ 手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路を抜針及び止血する行為
- ④ 血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の動脈表在化への接続又は動脈表在化からの除去
- ⑤ 心・血管カテーテル治療において、生命維持管理装置を使用して行う治療に関連する業務として、身体に電氣的負荷を与えるために、当該負荷装置を操作する行為
- ⑥ 手術室で行う鏡視下手術において、体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラを保持する行為、術野視野を確保するために内視鏡用ビデオカメラを操作する行為